



2010.12

国際社会科学評議会(ISSC)国際哲学・人文学会議(CIPSH)共催
国際科学シンポジウム
「持続可能な社会へのロードマップ」

国際社会科学評議会(ISSC)は、1951年の第6回UNESCO総会で決議され、1952年10月に設立されました。国際社会科学評議会は現在14の国際的な専門機関、40の国家的社会科学評議会が所属する社会科学系研究組織の連合体です。そして2年に1回の総会と連続する国際シンポジウムを開催し、社会科学の啓蒙を図り、社会発展を構想しています。

この国際社会科学評議会の総会が2010年12月名古屋で開催されます。

2009年5月にはノルウェー・ベルゲンにて「一つの地球、分裂した世界」をテーマに、800名の社会学者の出席のもと国際社会科学フォーラムが開催されました。また自然科学系の姉妹団体といえる国際科学会議(ICSU)は2008年10月にモザンビークにて総会を開催し、社会科学との連携の強化を決定しています。

2010年の名古屋での総会はこの流れを受けて地球環境問題や貧富格差問題を社会科学と自然科学との連携によって新たな方向性を模索するものです。

国際社会科学評議会 (ISSC) 総会 名古屋会議開催

国際社会科学評議会 (ISSC) は、国際哲学・人文学会議 (CIPSH) と共同して
2010年12月9日 (木) ~ 14日 (火) の6日間にわたり社会科学の国際会議を開催します。

2010年 12月10日 (金) ~ 12日 (日) ISSC総会 2010年 12月11日 (土) ~ 12日 (日) CIPSH総会
2010年12月13日 (月) ~ 14日 (火) ISSC-CIPSH国際科学シンポジウム

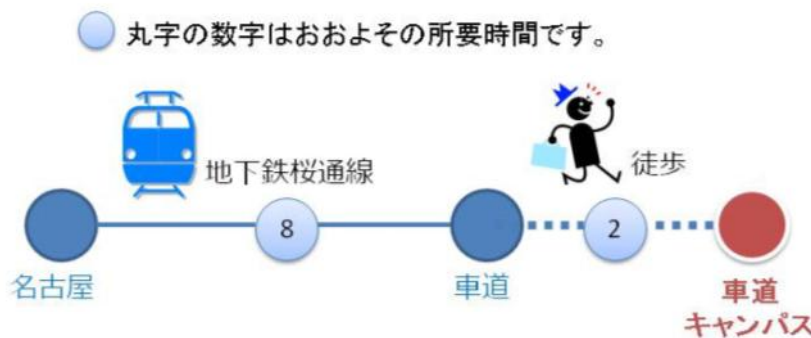
ISSC-CIPSH 国際科学シンポジウム in Nagoya 2010

パリのユネスコに本部を置く、国際社会科学評議会 (ISSC) および国際哲学・人文学会議 (CIPSH) は、来る2010年12月13日から二日間にわたり、名古屋市の愛知大学車道キャンパスにて国際科学シンポジウムを開催し、世界が経済発展を進めながら持続可能な環境を保つ具体的な方法について意見を交わします。

【開催期間】 2010年12月13日 (月) ~ 14日 (火)
【会場】 愛知大学 コンベンションホール
(車道キャンパス本館3階)



所在地: 〒461-8641 愛知県名古屋市東区筒井2丁目10-31
連絡先: 052-937-8111



【プログラム】

12月13日 (月)

08:30 ~ 09:15 開会挨拶
09:15 ~ 10:45 基調講演
11:00 ~ 18:00 全体会議
19:00 ~ 21:00 パーティー

12月14日 (火)

08:30 ~ 15:30 全体会議
16:00 ~ 18:00 最終討論会

【海外参加者】 世界各国から100名程度の参加を予定しています



グドムンド・ハーネス
社会学
ISSC会長
元ノルウェー教育研究相
ノルウェー



リック・リーマンズ
生物多様性
環境分析及び環境指数の構築
ヴァガニンゲン大学
オランダ



ミャナ・ラーセン
環境科学政策
地球科学システムセンター
ブラジル



トマス・ポグゲ
政治哲学
イェール大学
アメリカ



アダマ・サマッセコウ
言語学
CIPSH会長
元マリ教育相
マリ

国際社会科学評議会 *International Social Science Council*

【概要】

国際社会科学評議会(ISSC)は、1952年に設立されたパリの国連教育科学文化機関(UNESCO)に本部を置く、非営利の科学機関です。

ISSCの目的は、①社会行動科学を発展させ、それらの知見を主要な現代の問題に応用すること、②社会行動科学分野の組織や科学者と協力して、学際的な協力を推進すること、またこれらを用いて③人間社会に対する理解を深めることです。

ISSCは、社会科学系の学問分野の学会研究機関の総括団体であり、世界の社会科学の動向について監視し、将来的な方向を国連やユネスコなどの機関と決定していく立場にあります。社会科学の学術団体として、世界の最高レベルの組織です。



【科学研究プログラム】

ユネスコとの枠組合意の元、1990年以来ISSCが主導してきた比較的、学際的研究のネットワークを地域的国際的に構築することを目的とするプログラムです。現在ISSCは下記のプログラムの実施しています。

- 【地球環境変化と人間社会の動向に関する国際研究計画】(IHDP)



- 【ジェンダー、グローバリゼーションと民主化】(GGD) Gender, Globalization and Democratization



- 【災害時リスクの統合研究】(IRDR)



- 【貧困に関する比較研究プログラム】(CROP) Comparative Research Programme on Poverty
- 【民族紛争研究：平和へのアプローチ】(RECAP) Research on Ethnic Conflict: Approaches to Peace
- 【地球的社会変動のための国際計画】(IFSC) International Global Social Change Programme

【構成】

会長 グドムンド・ハーネス(ノルウェー)
副会長 児玉克哉(日本)[財政]
ルク・ヴァン・ランゲンホブ(ベルギー)[研究]
デービッド・ソーン(ニュージーランド)[情報]
(2008年11月27日ケープタウン総会選挙)2008年11月から2年間
事務局 ISSC/CISS, UNESCO House 1, rue Miollis, 75732 Paris Cedex 15 France
<http://www.worldsocialscience.org/>

【パートナー】

ISSCが提携しているパートナーの一部です。



国連教育科学文化機関



国連経済社会理事会



国際労働機関



国際科学会議



国連連合開発計画